

植物多様性センターの「ウグイスカグラの二刀流」

ウグイスカグラは早春の雑木林に彩を添える、花期の長い落葉低木です。じつは咲き始めには上を向き、気温が上がり始める頃には、花柄を伸ばして下向きに咲きます。どうやら、低温期には小鳥が見つけやすいよう上向きで、暖かくなり雨の日が多くなったら、下向きに咲いて小さな昆虫を誘う二刀流のようです。早春の林床でにぎやかな小鳥の声を耳にしたら、この木を探してみてください。



2月中旬:低温期には花柄を伸ばさず斜め上を向いて咲く



小鳥の啄んだ後の地面:にぎやかな宴の後はこのとおり



3月下旬:菜種梅雨ともなれば、細い花柄が伸びて下向きに



蜜のありか:花冠基部の膨らんだところ(→)に蜜がある